西幼だより

【教育目標】
しなやかに
たくましく

第３号　令和５年６月２日
新潟市立西幼稚園

（西幼稚園 HP）

子どもへの願い

園長　大矢　晃子

５月１２日に、保育参観と学級懇談会を行いました。子どもたちが園でのびのびと自己を発揮して遊んでいる様子をご覧いただくことができたのではないでしょうか。学級懇談会では、保護者の皆様から、園の生活を通して「こんな子どもになって欲しい」といった、願う姿について話を出していただきました。

- ○　元気で明るい子
- ○　元気にあいさつができる子
- ○　たくさん遊ぶ子
- ○　毎日楽しく過ごせる子
- ○　相手や周りの状況をよくみて、思いやりを示せる子
- ○　人にやさしく接することができる子
- ○　自分のことができる子

（・・・などでした。）

就学前の幼児に親が願うことを他でも調べてみると、上位は「思いやりのある子」「自分に自信がもてる子」「社会で自立できる子」などがあげられていました。このような力を育むためには、子どもが自分で考えて、自分で判断し行動できるようになることが必要だと思います。つまり「主体性」です。

子どもの主体性を伸ばすためには、まず自主性を育むことだと言われています。自主性は、やるべきことがわかり、なぜそれが必要なのか、を子ども自身が納得して行動することです。

園では、先生が子どもたちに対して「～しなさい。」「こうしなければだめ。」など指示や命令をすることは、ほとんどありません。子どもの思いを受け止めず、指示をすると一見子どもが言うことを聞いて動いたかのように思います。しかし、子どもは怒られないようにしているだけで、自分で考え、行動する力にはなりません。これを踏まえ、保育では遊びや生活の中で、子どもが自らやるべきことがわかり、なぜそれが必要なのかを納得させ体験させる、この積み重ねで子どもの主体性を育んでいます。

幼稚園教育要領に幼児期の健康な心と体は、他者との信頼関係の下で、自分のやりたいことに向かって、のびのびと取り組む中で育まれていく、とあります。子どもの歩みは小さい一歩かもしれません。しかし、子どもは身近な温かな人に囲まれて育ちます。子どもを信じて健やかな成長を園と共に支えてまいりましょう。

地域に親しむ　～　路線バスにって～

バス停から路線バスに乗って、内野駅前まで歩きました。

内野露店市でお店巡り

いろいろなお店が並んでいます。お店の人もお話ができました。

金魚屋さんで、金魚すくいができました。お気に入りの金魚を園でお世話をすることにしました。

みんなで出かけてきた共通体験から、バスに乗ったり、金魚すくいの場所ができたり、楽しい遊びが始まっています。

西幼テラス

保護者の方の語り合いの場、「西幼テラス」を作りました。降園前のひととき、子どもたちの様子をドキュメンテーションで伝えています。

サツマイモの苗を植えました

先生から、サツマイモの話を聞いて、畑に苗を植えました。「焼き芋したいね。」と収穫を楽しみに、お世話をしています。

西区役所の交通指導員さんから、交通安全について、教えてもらいました。横断歩道の渡り方も覚えました。

市之瀬幼稚園へバスに乗って出かけ、お友達と一緒に遊んできました。園にはない遊具や遊びを楽しんできました。ありがとうございました。